



# WORLD PURGE

—ワールド・パージ—

この世界を認識しているのは  
我々の意識である。

そもそも意識とは何だ。  
その意識が見ている光景は果たして  
現実のモノであるということを証明ができるのだろうか。

実は、この世界を構成しているのは  
非常に優秀なコンピュータであつて  
我々は何も見ていないのではないだろうか。

電子的な空間  
ある種の仮想世界。

本来の法則が成り立つ世界とは別の  
また新たな法則が適用される世界。

存在しないモノが存在する世界。

しかし残念なことに  
人間は意識という曖昧なモノを  
証明することはできない。

そんな世界で我々は生きているのだとしたら――

我々は一體何者で

何をもつて現実と認識しあうのだろう。



あなたが体験しているこの世界は  
実は水槽に浮かんだ脳が見ているバーチャルリアリティなのではないか

——ヒラリー・パトナム——

何もない  
無い。  
人全物すら  
インテリアも

なんとか  
見えるように  
なつてきま

ん

何かがい。

は？

暗い  
それに私が知ってる場所じゃなさ

ッ!!



なにコイツなんなの?  
タコの親戚か何か

まるかひのき聞いたんだ  
アレのせ…い?

何でツ?!  
どうやつてコイツ  
口の中に?!

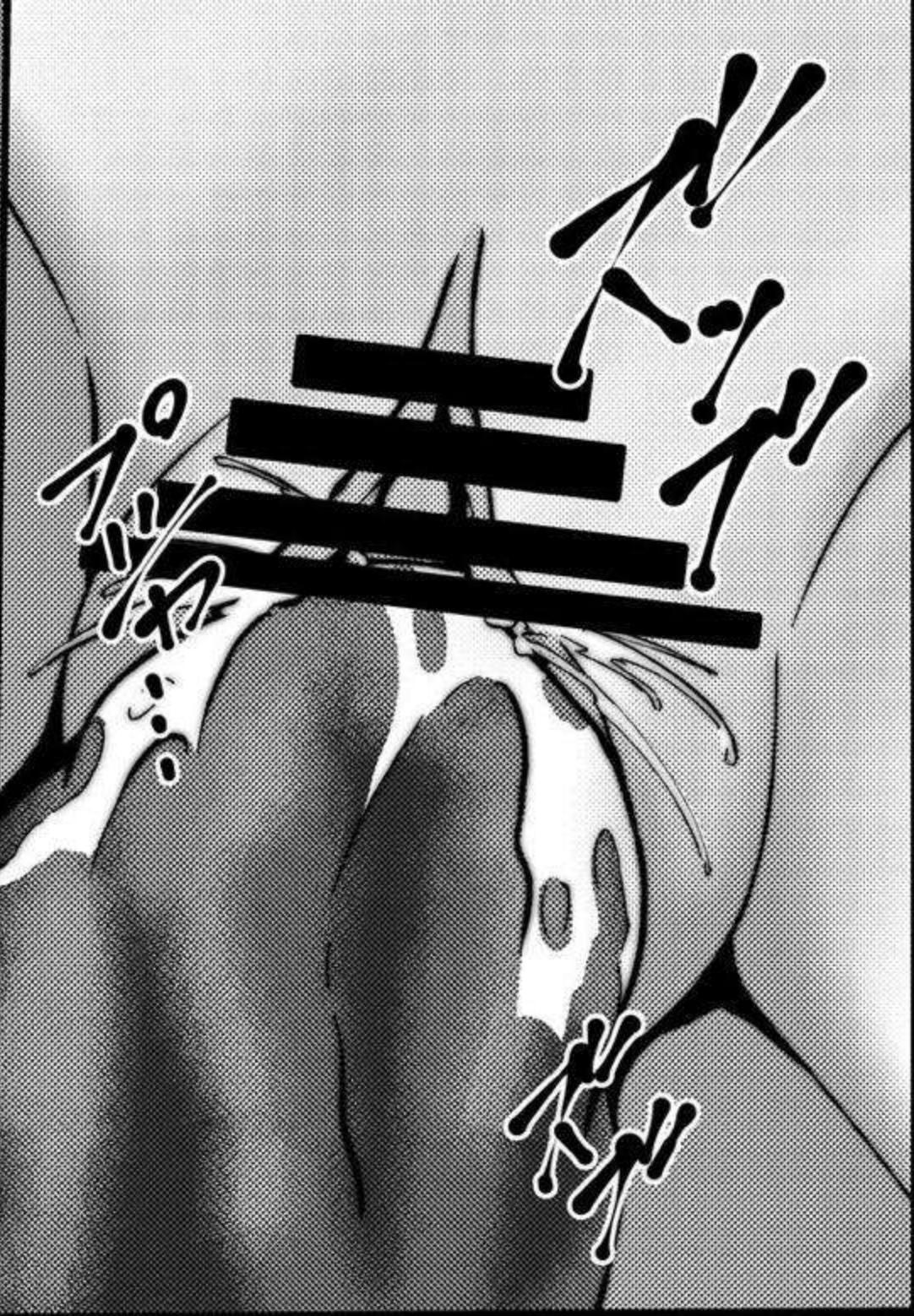
!!

なにこれ  
トロトロして甘い。  
凄く美味しい。♥

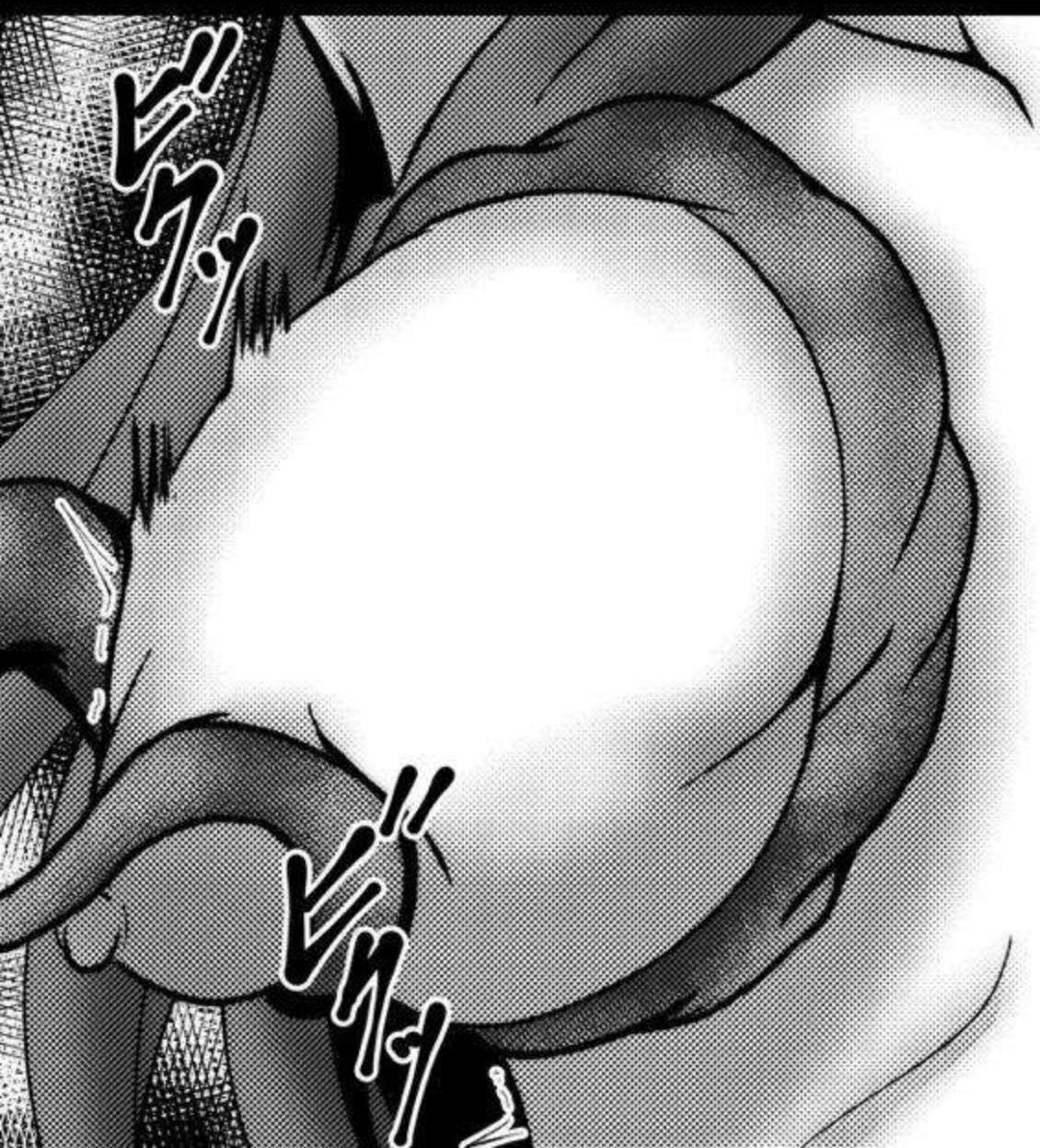
頭やば  
がフワフワしてワクわからんない  
♥

触られるだけで  
身体がピリッて気持ち良くなつて





もう何でもいいや……♥



おちんちんズブズブされるだけしか考えられないっ♥

→ワタシ

んふの

あ♥

ドクドク

ドク

グニ

ドク

ハルストン♥  
おのぱいがでーのとくらうらい

頭の中  
真の白黒なのへ向も考へたな

すのとくらうらいのが続いで

オランコをスボスボされて

クセになるう。♥  
キモチ悪かったハズなのに  
キモチ良すぎてスボスボされるのハマるやう。♥



キモチ良すぎて壊れる…ワタシ…いまひれる  
壊されて変えられちゃうてるう♥

おぐらちゅぐちゅ犯されて  
おちんちん専用のテンポケースに…  
おちんちんだけしか考えられない物に改造させらやつてる

頭おチンポで同時にジユブジユブされ続けちやつてる  
お尻の穴あ...ツ

もうひと...ひととキルサよくなりたい



おっぱいの中に何か入ってる…♥

おちんちん専用のチンポケースに  
身体が作り替えられて悦んでるのが分かる♥  
身体が孕みたいって待ちきれずにヨダレ垂らしながら  
おちんちんに媚びちゃってる♥  
気持ち良くしてくれる  
おちんちんに服従しちゃってる…♥

それに頭の中をクククユググユにかき混せられて  
ただの穴に改造されてる



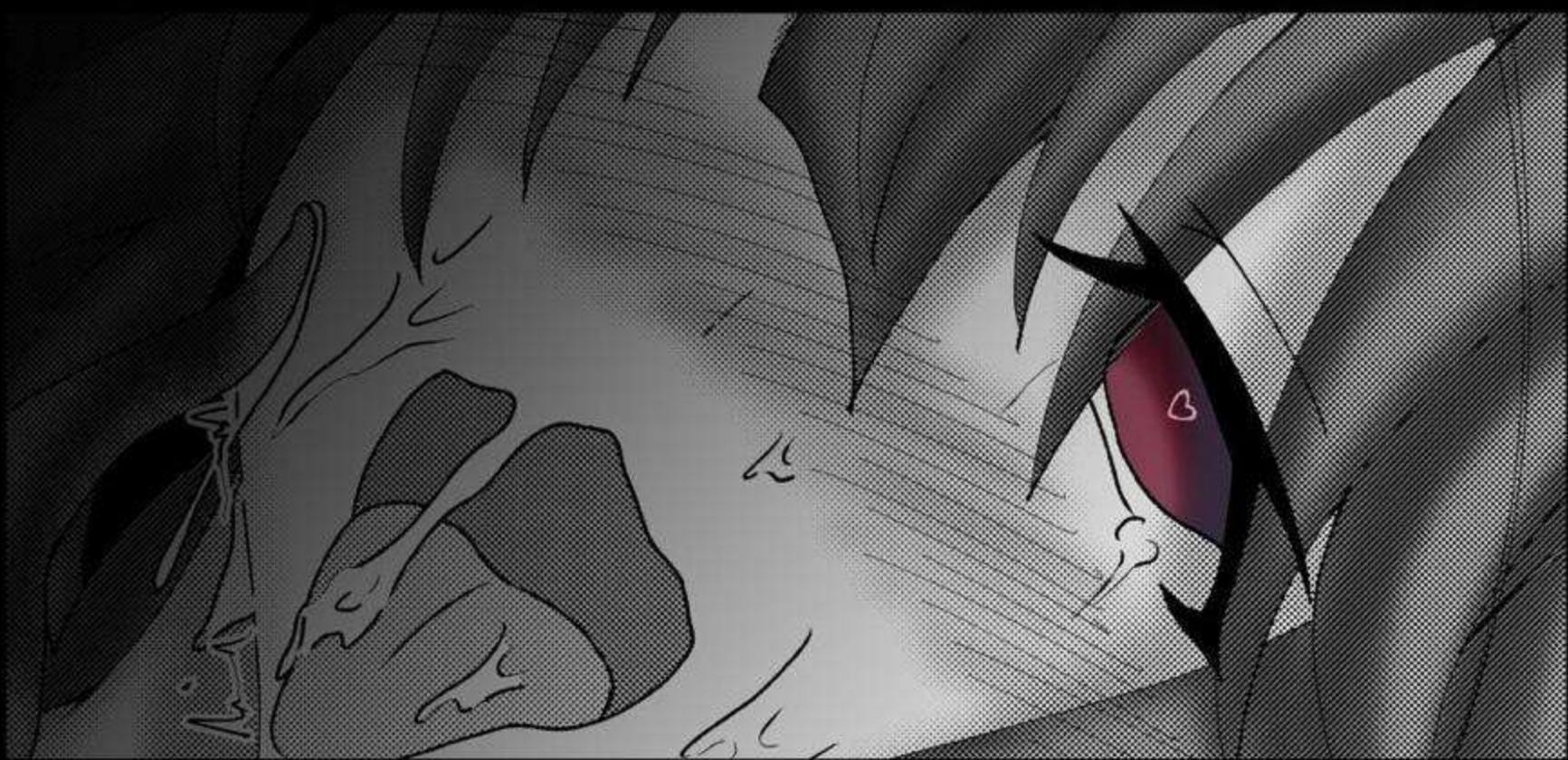


もつと…堕としてつ





テンポをアボアボのれる為に  
生徒会変わった…新しい便器



「ああ、やはりジブリュンビルデ<sup>ジ</sup>と接触した少女を捉えて正解だつた。あの島の中におりて監視対象に接触しなおかつ誰にも勘付かれる事が無いといふ不可能を可能としたのだ。当然篠ノ之束に関係がある。そうでなくては、あの篠ノ之束に何う行動を取ることはできぬ。」

それに加え監視対象が自ら動いた。それはつまり篠ノ之束に関係してゐる人物だと自ら言つてゐるようなものだ。

だからこそ抵抗されないよう支給されていた剥離剤<sup>シリムーバー</sup>を使ひ、所持してゐるであろうISを動かせないよう先手を打つた。運が良かつたのか、その場で簡単に確保でき、あとはちよちよいと捉える餌の完成だ。元の人格がとる行動通りに動くことから天災すら気が付くことができない釣り餌が巣に戻り、そして教育通り篠ノ之束を無力化する。

そこからは少女の能力を利用して、篠ノ之束といふ自我を夢の中で壊し洗脳教育してやれば、この世すべての力を組織に捧げる奴隸が完成する

しかしジアラスカ条約<sup>ジ</sup>において規制宣言されたハズの電腦ダイブ技術が、洗脳教育に使えると思いついた奴は、よほどの変態だな。



まあ、黙つていれば最上級の牝だ。  
男を喜ばせるペットとして洗脳教育し直してやつても面白そうだな



なつ

キハハ

くーちゃんを利用する...  
盲点だつたよ

ウハ

ウハ

スル

## ※あとがき

何を書こうか迷いましたが某サイトで常に使ってるフレーズ『はじめましての人は“はじめまして”、お久しぶりの方は“お久しぶりです”』—Twitterのアカウントをfollowしている方は……“先程ぶり”と始めさせていただきます。(葵がつく方の)束さんです。今回初めて私一人での同人誌作りということで、まあ……そうですね、見てわかる通りこのような形に収まりました。終わってみたらコマを増やして表情とか過程を描き込んでおけば良かったかなと反省点だらけです。

昔の事になりますが、私も同人誌を描くお手伝いをしていたことがあります——まあ、一応ですが。「手が足りないのでヘルプ」という事で簡単な事だけをやっていったのですが、今更ながら漫画を描くという辛さを実感しました。antz、あの時から(技術的な意味で)変態だったんだなと再認識をした次第でございます。しかし時代の進歩というか良いソフトが作られ、私のような畠違いの人間でも、こういう同人誌が描けるようになったと思うと——いやあ~、いい時代ですねえ~。

実は手をつけ始めたのが2016年7月と既に三年近くも過ぎているという現状。世にいる作家さんたちは、こんなにメンドくさい……もといメンドくさい作業をしているのだと思うと頭が下がる思いです。まあ、私自身が物書きという畠の出身ですので小説ではなく漫画を描けと言われても簡単に描けないのは道理ですが——それでもなんとか描き終えることができました。実際には16年の時点で、ある程度の完成はしていたのですがエロさが全く存在しないモノでしたので何度も描き直しして今に至ります。

初めての個人制作ですので、お見苦しいかと思われますが——まあ、ご理解して頂けますと助かります。良い勉強をさせていただきました。時間があれば線を細くしていって描き込みの量を増やしたり、今回以上にコマを増やして描写を綿密にしてみたいですね。時間があれば、の話ですが……。一応、次作の構想は出来上がっているので描けなくはないのですが、なにぶん畠が違うと申した通り物書きですので完成するのはいつになることやら——

発行日 2019年5月16日  
サークル CCCNO  
著者名 葵束  
Twitter @aoitabane  
印刷所 XXX  
お問い合わせ XXX

